

令和5年度協働事業提案制度 提案概要

(提案企画書から転記)

事業名	世代を超えた交流の場と生涯学習の地域拠点作り
団体名	特定非営利活動法人 ゆとりの
事業概要	<p>大曲を中心とした地域から少し離れた緑ヶ丘は生涯学習振興会的な組織がなく、そういう施設があれば参加したいという人は多い。その上で、福祉的な視点を大事にした地域の要望に即した継続的な企画や参加メニューで、高齢者を含めた世代交流の場として活動を立ち上げて5年経過したが、一層地域を超えた活動の輪を広げたい。</p> <p>すでに実施している活動をもとに、より活動の幅を広げることで、世代を超えたコミュニケーションの場や相互協力の機会を増やすことができると考えられる。</p> <p>行政ではなかなか手の届かない部分を継続的に市民による活動で支えることができる。</p>
協働の必要性	<p>あったらいいなという活動を具体化して取組んでいる法人ではあるが、より多くの要望に応じていくには規模体力で限界がある。しかしなかなか実現できないものを協働によって進めることができる。そのために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動・会場費や保険料、運営にかかわっての人的経費の支援 ・周知するための広報的協力 ・市のもっている活動の支援になる情報の提供 <p>等を期待したい。</p>
役割分担	<p><input type="checkbox"/> 団体が担う役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要望に応えた活動内容の企画と実現 ・来場者の情報管理 ・チラシや活動情報(新聞)などを作成するなどの広報活動 ・地域のニーズを調査する活動 <p><input checked="" type="checkbox"/> 市に期待する役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場費や保険料、運営にかかわっての人的経費の支援 ・周知するために広報的協力
協働の効果	<p><input type="checkbox"/> 団体にとっての協働の効果</p> <p>市から経費等の資金面での支援を受けることで、事業を継続的かつ広範囲で実施することができる。それによって、この活動を多くの市民に知ってもらうことができる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 市にとっての協働の効果</p> <p>市にとっては、行政の手がなかなか届かない細かなサービスを、地域の市民活動で補うことができる。また、地域からのニーズの声を収拾できる。</p>
団体の目的	<p>以下三つの柱を中心に活動する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①高齢者に対して在宅福祉サービス事業や外出支援事業等と連携し、自宅以外の居場所と活動を提供することにより、地域社会の中で自立した生活が送れるのみならず、地域を活性化させる担い手となり活躍できる社会の実現に寄与することを目的とする。 ②地域住民すべてに対して、地域住民同士が助け合い、高齢者の介護及び介護予防の日常生活支援事業を行うことにより、地域の福祉の増進に寄与することを目的とする。 ③地域住民すべてに対して、交流の基地としての事業を行い、地域の全体の公益の増進に起用することを目的とする。
過去の活動実績	<p>高齢者を中心とした健康維持活動および介護予防として「百歳体操、ふまねっと」、認知予防として「脳トレ」いずれも北広島市健康ポイント事業と連携して開催。その他、「大人のための絵本の会、麻雀の会」などを開催。また、語らいの場として「ミニカフェ」も定例で実施中。</p> <p>また、子供たちの居場所提供として「イチゴ教室」を北広島市・同教育委員会の講演で開催。その他、居場所づくりや活動の機会として「あぐりサロン」や「木工教室」、畑での農作業体験、車庫での木工製品の作成を行ってきた。</p>
市関係希望部署	保健福祉部